

教育研究活動報告書

ふりがな 氏 名	にのみや たかゆき 二宮 貴之	所属・職名	子ども学部子ども学科 助教
専門領域	声楽、音楽教育、ピアノ	学位 称号	修士
最終学歴	福岡教育大学大学院教育学研究科音楽教育専攻		
資格・免許等	中学校教諭一種免許状（音楽）第1560号 福岡県教育委員会 高等学校教諭一種免許状（音楽）第2649号 福岡県教育委員会 中学校教諭専修免許状（音楽）第0178号 福岡県教育委員会 高等学校教諭専修免許状（音楽）第0314号 福岡県教育委員会 財団法人日本英語検定協会 実用英語技能検定試験準1級取得		
教育上の能力に関する事項			
担当科目	声楽、ピアノ、遊びの中の音楽リズム、子どもの歌弾き歌い、音楽表現Ⅱ、小学校教育実習指導、学校インターンシップ、 (教育方法の実践例)		
教育方法の実践例	○検討会を導入した学生指導 平成19年～20年 西日本短期大学保育学科の非常勤講師として担当の「遊びの中の音楽・リズム」（専門科目、1年次、半期、選択1単位）は、幼児期に豊かな感受性や表現力を養い創造性を豊かにするねらいのもと、表現遊び、オペレッタを体験し伸びやかな表現力を体得させた演習である。大半の学生が保育士を目指すという学科の特徴から現場でよく取り上げられている題目を選び、大道具、小道具、衣装などの作成、また楽器を取り入れての大掛かりな上演を行ったが、集団活動の中ではプライベートな感情を持ち込み、学習効果が向上せず予期せぬ方向へ進んで行くケースが起こる為、活動の状態を3段階(初期、中期、最期)に区分しその都度検討会を教員と開くことにより学習進度の微調整とメンタル面での援助を行った。その結果、生徒の理解度や問題意識、説明不足な点を把握し予想より早く目標に達することができた。		
教材の開発	○小学校教育実習指導における面接指導と5段階評価システム導入 平成22年～ 西九州大学子ども学部子ども学科の専任教員として担当の「小学校教育実習指導」（3年次、3年次後期～4年次前期、必修1単位）において、小学校教育実習参加を希望する学生に対し、実習参加の意思確認、生活態度面、学力面、本実習に向かうまでの継続的な自助努力の必要性などを個別に説明し、3名の面接者とともに面接を行った。学生等がこれまで義務教育及び高等学校等で経験してきた生徒指導は、従来高等教育機関では積極的に行われてこなかったが、面接を通じ、学生個人と向き合い、実習の意味や現状把握を学生自身にさせることで、教壇に立つ心構えを芽生えさせることに効果的であった。 また、この面接では、学力を3教科(国、英、数)の業者テスト及びGPAの両面から総合的に測定しており、教科指導に重きを置いた教育実習に出す際客観的データを基に具体的な助言、指導を行えたことは、「教育指導」を行う上で効果的であった。 なお、学生個人の面接評価は、学力、面接態度、意欲等の項目に大別し、5段階評価を用いて算出し、算出点数により実習参加仮決定者、保留者に分けそれぞれに応じた学生指導を行うという学部初の試みである。		
教育改善活動等	(教材の開発) 平成19年～20年 ○模範演奏の録音 西日本短期大学保育学科の非常勤講師として担当の「声楽」（専門科目、1年次、半期、必修1単位）の授業において、模範演奏を録音したCDを各自に配布。初年度はピアノの単旋律を録音したものだけであったが、女声と男声の2声を録音することで男女ともに同声の声に興味関心が持てるよう配慮した。		
	○市販教材の活用の工夫 平成19年～20年 西日本短期大学保育学科の非常勤講師として担当の「子どもと音楽表現Ⅱ」（専門科		

目、1年次、半期、選択1単位)は主に「歌」「動作」「楽器」を活用した総合的な音楽表現の工夫に取り組み、楽しさの中で音楽と関わることでできる経験を積み上げ、表現力と実践力に富んだ保育士の育成を目指し開講された。この際、市販の楽譜や絵本などの教材を使い実際に音楽活動(手遊び、わらべうた、手話ソング)に取り組んだ。しかし、既存の教材をただ使うだけではなく、絵本の読み聞かせの授業では、絵本の場面に適した音階、和音、旋律を創作し「お話しリズム」という形で市販教材を活用し創意工夫した。その効果により感情の乏しい朗読を行っていた生徒達が、生き生きと活力みなぎる読み聞かせを行うことができた。

授業アンケートでも「授業の中で大きく取り上げて欲しい」という積極的な意見をもらい、市販教材の工夫が大きな成果をもたらした。

○身近な道具を使った伝統的クラシック音楽の発声法の導入 平成19年～20年

西日本短期大学保育学科の非常勤講師として担当の「声楽」(専門科目、1年次、半期、必修1単位)は基礎的な歌唱法をマスターし、様々な「子どもの歌」に触れ、豊かな感性を備えた保育者、幼稚園教諭を育成するための科目である。基礎的な歌唱の能力とは、正しい音程で無理のない発声が行えているか、が観点となるため、声楽の初心者のためにピンポン玉やサララップ等身近な道具を使いながら声の通り道を認識させる。唇が振動し息の流れや横隔膜の位置を短期間で認識させられる効果的な発声指導法の導入により近年では、保育実習などで長時間声を使う場面でも喉を壊さない発声、歌唱が可能となり今後とも演奏技術の向上等において高い期待がよせられている。

また身近な道具を使った斬新な試みにより生徒が主体的に新たな代用品を探してくるなど、より積極的に授業へ参加するといった相乗効果が表れていた。

○歌唱時における音程聴取困難学生に対する個別レッスン指導 平成22年6月～10月

西九州大学専任教員として行う「ピアノ」の授業の中で、弾き歌いの指導を行った。その際、音程聴取に困難を抱えている学生に対し、和声感を養うための訓練、発声指導、ピアノ演奏と歌唱を分離させる指導の工夫、日常生活の中で音楽を聴くことを取り入れる方法などを盛り込みながら、多角的にレッスンをを行い、それを個別指導で実践した。

○譜課題の考案と課題の実施 平成22年～23年1月

西九州大学専任教員として担当する「ピアノ」の授業において基礎的な音楽力となる読譜力を育成するため、独自の読譜課題を考案し、読譜力が脆弱な学生達の読譜力を向上させるため実施した。課題については、ピアノ指導教員が採点し翌週学生へ返却を行い改善を要する点について指導し、100点になるまで繰り返し反復学習をさせた。データ収集後分析を行った上で学生全体に視聴覚教材(パワーポイント)を利用しながら、読譜力の向上を視覚化、解説を行うというきめ細やかな指導と、読譜力育成に関して本学独自の取り組みを行った。

○小学校教育実習履修のしおり作成 平成22年～23年3月

西九州大学子ども学部専任教員として担当する「小学校教育実習指導」、「小学校教育実習」の授業に必要となる教育実習履修のしおりを独自に作成した。

実習に向かうための心構え、実習参加基準の内規等を載せ、具体的な取得単位及び科目を分かりやすくまとめたものである。なお、平成22年1月21日に実習のガイダンスを開き小学校教育実習参加希望学生全48名に対して説明会を開きその際使用された。

○小学校教育実習の手引き作成 平成22年～23年3月

西九州大学子ども学部専任教員として担当する「小学校教育実習指導」、「小学校教育実習」の授業に使用される小学校教育実習の手引きを独自に作成した。佐賀市内で教育実習を行うため、県内を中心に情報収集を行い、佐賀市内で使用される指導案、指導案の形式などの要素を抽出し、手引きの中に盛り込む工夫を行った。

○小学校教育実習日誌作成 平成22年～23年3月

西九州大学子ども学部専任教員として担当する「小学校教育実習指導」、「小学校教育実習」の授業に必要となる小学校教育実習の手引きを独自に作成した。

○「学校インターンシップ」のテキスト開発 平成22年～23年3月

西九州大学子ども学部専任教員として担当する「学校インターンシップ」の講義用テキストの開発を行う。この授業は、近隣小学校と連携を行い、学校現場で体験学習を行うことを主たる内容としているが、学校法規やクラス数、児童数、校務分掌等の学校現場に即した知識、情報を体験と同時に与えることが、学生の学習効果の向上に繋がると考えられるため、本学独自のテキストを開発した。

「地域力を生かした小学校教育実習を目指して」平成23年3月
地域との連携を基軸とした小学校教育実習を目指し、これまで行ってきた取り組みについてまとめた報告書であり、小学校教育実習指導用の教材として活用する。

(教育改善活動等)

○FD研修会に参加し、報告書の提出を行った 平成22年 2月

○FD研修会に参加し、報告書の提出を行った 平成23年 2月

職務上の実績に関する事項

- 4校連絡会の立ち上げ(若楠小、高木瀬小、城北中、子ども学部) 平成22年6月、23年3月
- 小学校教育実習に関する佐賀市教育委員会との協定書に向けた準備及び締結
- 教職課程認定大学実地視察において小学校教育実習に関する子ども学部の構想を述べる 平成22年7月
- 佐賀市教育委員会義務教育指導係実習担当指導主事 平成22年8月
 - ・佐賀大学の例で協定の締結に向けた流れの説明を受け、子ども学部の教育実習の構想について説明を行う
- 佐賀市教育委員会指導係長と子ども学部の教育実習の構想について説明する 平成22年8月
- 佐賀市校長会会長との会談 平成22年8月
 - ・西九州大学子ども学部の小学校教育実習の構想について説明する
- 佐賀市校長会への出席平成22年9月
- 佐賀市教育委員会にて 平成22年9月
 - ・佐賀市の校長会の折、教育実習の構想について説明する。その後、教育委員会で協定に向けた資料について協議する
- 佐賀市教育委員会への出席 平成22年10月
 - ・指導主事と資料(申し合わせ事項、スケジュール表)についての協議を行う
- 佐賀市教育委員会への出席 平成22年10月
 - ・教育委員会で協定に向けた資料についての検討会
- 協定書締結についての説明(若楠小)、小学校部会平成22年11月
- 協定書締結についての説明(高木瀬小・鍋島小)にて平成22年11月
- 佐賀市教育委員会にて平成22年11月
 - ・市教委において教育委員会、校長会会長、3校の校長、大学とで教育実習について協議を行う。
- 「若楠小学校校長との連絡調整会議への出席」平成22年11月
 - ・佐賀市との協定に向けての状況説明と、大学側の教育実習に関して
- 「高木瀬小学校校長との連絡調整会議への出席」平成22年11月
 - ・佐賀市との協定書締結に向けての進捗状況について
- 「鍋島小学校校長との会合へ出席」平成22年11月
 - ・小学校教育実習に関する概要説明を行う
- 「神野小学校校長との会合への出席」平成22年11月
 - ・佐賀市校長会会長へ子ども学部の小学校教育実習に関する概要説明と今後の取り組みについて
- 「佐賀市教育委員会との会合へ出席」平成22年11月
 - ・佐賀市教育委員会において「申し合わせ(案)」「スケジュール(案)」について事前打ち合わせを行う
- 「佐賀市校長会への出席」平成22年11月
 - ・西九州大学子ども学部の小学校教育実習に関する概要説明と、実習受け入れ願いを校長会出席者(校長約50名、教育委員会5名)に対して行う
- 「教育実習締結に向けて協議する」(佐賀市教育委員会と西九州大学)
 - ・協定に向けての話し合いを行う 平成22年11月
 - ・11月の校長会の内容について、市教育委員会側の意見交換を行う
 - ・校長会において承認されたため、西九州大学と協定書調印式を行う事が決定する

- 平成22年1月佐賀市と教育実習に関する協定を結ぶ
- 小学校教育実習に関するシステムの構築 平成22年12月～現在に至る
 - ・小学校教育実習の方針固め(佐賀市教育委員会での打ち合わせ)
 - ・佐賀市と教育実習に関する協定書を締結する
 - ・活動ノートの運用
 - ・資料作成(小学校教育実習申請書・小学校教育実習生調査書)
 - ・子ども学部小学校教育実習参加基準の内規化
 - ・小学校教育実習面接で5段階評価システムを初導入する
- 地域力を生かした学校インターンシップの立ち上げ 平成22年～現在に至る
 - ・高木瀬小との連携(井原山登山、北山少年自然の家での野外炊飯活動を企画立案し、参加実施を行う)
 - ・若楠小(平常授業への参加)との連携
 - ・若楠小PTAとの会合に出席
- 西九州大学神園キャンパス3号館落成記念式典での合唱指揮と独唱指揮 平成21年5月
 - ・西九州大学神園キャンパス3号館
- 実技発表会の器楽指導(幼稚園教諭) 平成21年8月
 - ・西九州大学神園キャンパス
- 実技発表会の器楽指導(学生) 平成21年10月～12月
 - ・佐賀市文化会館にて上演を行う
- 実技発表会の器楽指導(幼稚園教諭) 平成22年8月
 - ・西九州大学神園キャンパス
- 実技発表会の合唱指導(学生) 平成22年8月～12月
 - ・佐賀市文化会館にて上演を行う
- 卒業式での式歌、校歌、国歌指導及び指揮 平成23年3月
 - ・佐賀市文化会館
- 実技発表会の器楽指導(幼稚園教諭) 平成23年8月
 - ・西九州大学神園キャンパス

研究業績等に関する事項

《平成19年度～平成23年度》

著書・学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行所・発表雑誌等 又は発表学会等の名称	発行又は 発表の年月
○音の特徴を捉えるための音楽活動—音の傾聴と視覚のイメージ—	共著	西九州大学	平成22年 1月
○音楽経験者・未経験者における読譜力育成に向けた取り組み—課題考案とデータ分析を中心に—	共著 (筆頭)	西九州大学	平成22年 11月
○地域力を生かした学校インターンシップ実践報告	共著	西九州大学	平成22年 11月
○スポーツ・ダンスと音楽の文化享受に関する研究—特にスポーツ・ダンス実践者に焦点を当てて—	共著	大阪教育大学紀要第IV部門第59巻第2号	平成22年 2月
○音楽経験者・未経験者における読譜力育成に向けた取り組み(第2報)—考案課題のデータ分析を中心に— (学会発表)	共著 (筆頭)	西九州大学	平成23年 2月
○読譜力を育成するための取り組み	共同 (筆頭)	全国大学音楽教育学会九州地区学会	平成22年 10月
○保育士・教員養成校における読譜力育成に向けた取り組み—課題考案とデータ分析を中心に—	共同 (筆頭)	全国大学音楽教育学会関西地区学会	平成23年 7月

○学生の指導力育成を目指してーピアノレッスンにおける試みー	共同	全国大学音楽教育学会九州地区学会	平成23年9月
(演奏業績)			
○大分ルーテル福音教会でのレクチャーコンサートにて独唱	単独	大分ルーテル福音教会	平成21年2月
○西九州大学子ども学部3号館落成記念式典での独唱	単独	西九州大学	平成21年5月
○大分ルーテル福音教会でのレクチャーコンサートにて独唱	単独	大分ルーテル福音教会	平成22年2月
○西九州大学でのコンサート	共同	西九州大学	平成22年10月
○大分ルーテル福音教会でのレクチャーコンサートにて独唱	単独	大分ルーテル福音教会	平成23年4月
○佐賀市立嘉瀬小学校でのコンサート	単独	佐賀市立嘉瀬小学校	平成24年1月
○佐賀市立嘉瀬小学校でのコンサート	共同	佐賀市立嘉瀬小学校	平成24年2月
○佐賀市立嘉瀬小学校でのコンサート	共同	佐賀市立嘉瀬小学校	平成24年3月

研究助成等

学会及び社会における活動等

- 全国大学音楽教育学会会員
- 日本音楽教育学会会員
- 日本保育学会会員
- 全国大学音楽教育学会全国大会（佐賀）において実行委員を務める。平成21年
- 佐賀市立嘉瀬小学校での器楽指導 平成24年1月
- 佐賀市立嘉瀬小学校での合唱指導 平成24年2月
- 佐賀市立嘉瀬小学校での合唱指導 平成24年3月